

創立:昭和31年(1956)2月10日

2010～2011年度
国際ロータリーのテーマ



Weekly Bulletin

The Rotary Club of Sumoto

クラブテーマ:GO!GO!次なる一歩へ

第2680地区

洲本ロータリークラブ

地域を育み、大陸をつなぐ

RI会長:レイ・クリンギンスミス

事務所:〒656-0025 洲本市本町4丁目5-10 三井住友銀行 洲本支店3F TEL.(0799)22-8915
E-mail. sumotorc50@cup.ocn.ne.jp FAX.(0799)26-0101

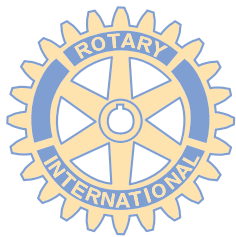
例会:毎週火曜日12:30

三井住友銀行 洲本支店3F

会長:秦 紳一郎

幹事:岡田 雅博

会報委員長:中村 尚義



第2750回例会 2010.9.21(火) Vol.11

洲本RCホームページの楽しみ方

IT 特別委員会 木戸 清隆 委員長

今月は『新世代のための月間』です

第2749回

2010

9/14 Report

出席委員会 (9月14日)	●先取補填者……………0名
●会員総数……………45名	●本日の欠席者……………9名
●出席必要会員数……………44名	●今週の出席率……………79.54%
●本日の出席者……………35名	●先々週の修正出席率88.88%

会長の時間

会長 秦 紳一郎

皆様こんにちは。マラソンに例えると遙か前方を走っていた「秋」の背中がようやく見え始め、追いつけそうになってきたと言うところでしょうか。ゴルフをされる方も熱中症の心配なく安心してプレーできそうです。



本日は、ビジターとして津名RCの谷村様、高松南RCのソバハニ様ご夫妻、ようこそお越し下さいました。

先週の土曜日、WCSワークショップが開催され、長井国際奉仕委員長と私、それから地区国際奉仕委員会アドバイザーとして中村PGが出席しました。入会して日が浅い方にWCSを少しだけ説明したいと思います。World Community Serviceの略で世界社会奉仕と訳されています。国際奉仕は、綱領の中で「世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。」となっておりますが、WCSはその中で、特に人道的な事柄、例えば水と衛生設備、基本的教育と識字率向上、疾病予防と治療、母子の健康と女性の自立支援、そして

貧困の問題などに特化した奉仕と理解すればそんなに間違っていないと思います。今月は、新世代のための月間と言うことで、先週は不動新世代委員長が卓話をされました。今年度から新世代委員会は五大奉仕委員会の一つとなりましたが、以前は青少年奉仕委員会と呼ばれ、社会奉仕委員会の小委員会の一つでした。それは、ロータリーが初めに青少年に対して行ったのが、貧しい新聞配達少年を例会場に招いて会員が新聞を買ってあげたり、危機下の青少年を助けるといった社会奉仕の分野からスタートしたからだ聞いております。しかし現在のRIの新世代の為のプログラムは、その殆どが人作りのためのものだと云えると思います。インターアクト、ローターアクト、RYLA、国際青少年交換など、次世代を担う若者にロータリーの思想を理解してもらい、ロータリーの意志を継いでもらおうと言うものだと思います。最後に週報にも出ておりますが、改めて新世代のための月間の標語を申し上げます。「各ロータリアンは青少年の模範」英語で「Every Rotarian an Example to Youth」。



●来訪者：

MASOUD SOBHAN (高松南 RC) 様ご夫妻
谷村克也 (津名 RC) 様



●ソング：我等の生業

平成22年10月30日(土)14:30

南あわじ市西淡市民センター大ホール

- ・全国戦没学徒を追悼する會事務局より「第16回全国戦没学徒追悼祭」の案内
- 平成22年10月21日(木) 午前11時より
- 伊弉諾神宮にて

○ 中村尚義直前ガバナーに感謝状の贈呈



「ロータリー米山記念奨学会」評議員としての
尽力に対して

幹事報告

幹事 岡田 雅博

1. 洲本 RC

- ・10月移動例会のお知らせ
10月24日(日)11:00
三熊山「洲本城」で
「ベンチ贈呈式」
卓話



「三熊山・洲本城について」
12:30 例会・食事(夢海游)

10月26日(火)の例会は休会

- ・9月11日(土) WCS ワークショップ出席のお礼

2. ガバナー事務所より

- ・「国際青少年交換プログラム
2011-12年度派遣生募集」の案内
10月31日まで ロータリアンの子弟も参加可能
- ・「第8回チャリティー地区親睦ゴルフ大会」の案内
2010年11月18日(木)8:49 スタート
北六甲カントリー倶楽部
締切:2010年10月22日(金)

3. 財ロータリー米山記念奨学会より

- ・ハイライトよねやま127号(2010年9月13日発行)
①寄付金速報
②理事会・評議員会開催報告
③台湾の学友夫妻から10万円の寄付
④タイでのWCS活動に米山学友が協力

4. 淡路グループより

- ・南淡路 RC、淡路三原 RC、津名 RC、淡路北 RC、あわじ中央 RC より週報拝受

5. その他

- ・脇町 RC より週報拝受
- ・「第28回淡路子どもの心研修会」の案内
「不登校」－保護者と子どもを大切に－
鳴門教育大学 栗飯原良造教授

○横井君より高松南 RC

マスウド ソバハニさんの紹介

イラン生れ、米国で教育を受け、日本でイラン製品の販売。インテック大阪で開催のフードフェスティバルにおいてオリーブオイルが仲を取り持つ。藤井君の知り合いでもある



委員会報告

○ゴルフ同好会 寺山代表

9月23日 淡路6 RC 大会開催

洲本ゴルフクラブ

10月17日 洲本 RC コンペ開催

垂水ゴルフクラブ(2名分空き有り)



○親睦委員会 鶴飼委員長
藤井君に誕生祝いプレゼント



○IT 特別委員会 木戸委員長

9月15日より洲本ロータリークラブのホームページが立ち上がります
外部向けのクラブ情報や会員相互の情報交換の場もできるように現在取り組んでおります
詳しくは次週の卓話をお楽しみに

「新世代のための月間」

若者の記事を拾ってみました

卓球の石川佳純選手(当時高校2年・16歳)の記事がありました。「全日本選手権で1点を獲得するごとに結核ワクチンBCG 10本を、NPO 法人を通じて世界の子供たちに送ると発表した。合計9選手が参加。」だそうです。「1点取るたびに、世界中の困っている子供たちに力を与えられるのはうれしい」と語っているのです。

ソフトバンクの和田投手も平成17年から始めた。「プロ野球選手になったら社会貢献がしたいと思い、投手としての結果がワクチンの数を増やす仕組みを考えた」と一球ごとに10本、一勝で同20本などのルールを決め、3年間で約15万本を贈った。

今の若者たちは匿名ではなく実名で社会貢献することに積極的であると書いてありました。こういった若者のお陰で爽やかな秋風を肌にかんじることが出来ます。

さあ、私たちロータリアンには何が出来るのでしょうか。

ニコニコ箱 (9月14日)

- ・本日はお世話になります 谷村 克也様
- ・ようやく過ごしやすくなりました 秦紳一郎会長
- ・誕生日祝いをいただいて 岡田 雅博幹事
- ・IM 開催ではお世話になります。どうぞよろしくお願い致します 石濱 義民ガバナー補佐
- ・藤岡さん、大変お世話になりました 武田 康平君
- ・一寸良いことがありました 廣木 辰夫君
- ・一寸嬉しいことがありました 柴田 正樹君
- ・先週例会欠席のおわび 寺山 直次君
- ・誕生日祝いをいただいて 藤井 啓誠君
- ・マスウド・ソバハニさんようこそ洲本RCへ 横井 哲行君

本日合計 17,000円

累計206,000円(目標; 900,000円)

本日もご協力有り難うございました!

プログラム「IM主催に当たって」

RID2680 淡路グループ 石濱義民ガバナー補佐

私は25年前先輩(行政先生)から、「お前は非社交的だからこそロータリークラブに入れ。」と強く誘われて入会しました。入ったら、「例会は絶対休んだらあかんぞ。休んだら罰金。そのうちに分かるようになる、兎に角出て来い!」とだけ言われ、何も教えてくれませんでした。



世間の偉い人に囲まれての(偉い方がロータリーにいらっしゃる・・・とつぶやきながら)昼食会は少々窮屈で、お茶を入れていただくのには恐縮しましたが、まんざらではなかったように思います。そんなある日(2000年2月6日)、淡路中から会員が集まり、隣町の(津名)クラブの瀬川大先輩から「シェルドンの奉仕論」を詳しく講義される会合

(IMの前段)がありました。難しくてよく理解できなかったのですが、しかし、はっと気づくことがありました。「これはすごいぞ。何かある。ただの食事会ではないぞ!」と思った次第です。

それから気をつけていると、「超我の奉仕」、「個人奉仕」、「団体奉仕」など難しい言葉をよく耳にするようになりました。超我の奉仕とは何や、個人奉仕(当時は個人奉仕しか言わなかった)と言いながらポリオをやっているがあれは団体奉仕ではないのか?

それから何年かして、深川純一パストガバナーの「ロータリー運動の核心」(ロータリーの友誌)を拝読して胸のつかえが取れました。「ロータリーは倫理運動であり、クラブは寄付団体でも、慈善団体でも、ボランティアの団体でもない。倫理を提唱していくことによって、世のため人のために働いていこう、という団体である。たばこの吸い



穀を拾う人ではなく捨てない人を育てるところにロータリーの本願がある。人を育てること、道徳を守る人間をつくること。そのことによって、世のため人のために活動する。“と記されていたように思います。ロータリーは奉仕するだけの団体ではなく、むしろ奉仕する人を育てる団体という思い。入会して13年も経っていたのです。そして、

(寄付などを通じて)自分はロータリーを使っているのだ、岩村先生の活躍などロータリーにお願いして代わりにやってもらっているのだ、ということにも気づきました。

私は社会奉仕委員長になった時、三熊山の樹木のラベリングと塵拾いを実施しました。見慣れた近隣の森も、じっと見つめると素晴らしい自然そのものが残っていることに驚き、そこに落ちている小さな紙切れでも、人工の異質なものの醜さに参加者は驚いたに違いない、と思いました。市民にも多数ご参加いただきましたが、自然を愛し、環境を守り、塵を落とさない奉仕のところが膨らんだものと信じています。ささやかな実践であるが、得たものは大きかったと思っています。その時、ラベルにロータリーマークも張らず一切広告をしなかった。誰もそれに不満はありませんでした。すごいことだと思います。

奉仕の精神を学び育てるには、普段は例会に出席しなければなりません。米山梅吉先生は「例会は人生の道場である」といわれたそうです。加藤隆久パストガバナー(私が会長の年度のガバナー)は「ふれあい 学び ロータリーのこころ育み行動を！」といわれ、ふれあいを大切にロータリーの倫理を身に付け、奉仕のこころを持って活動をしようといわれた。そして常に「四つのテスト」を意識したいものであります。

奉仕活動にはクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕(そして新世代奉仕)があるが、以前から職業奉仕をロータリーの象徴的なものとされてきました。「最もよく奉仕するもの、最も多く報われる。」 奉仕するのは奉仕する喜び、愛のためであり、職業奉仕であれば天職(Vocation)を全うする喜びのためである。報いを期待してではない。結果として報われるかもしれないが目的ではない。ここで注目して頂きたいのは、本日配付された中村直前ガバナーの「年次報告書」です。冒頭(＃1)の下から3行目から読んでみて下さい。まさにそのことが書いてあります。

近年、ロータリー運動は低調になり、会員増強

が困難で会員の減少が続く、拡大どころかクラブが消えることもないとは限らないといわれています。このためにさまざまな方策が考えられるようになりました。そしてメディアの取り扱いや世間での認知度を気にし、広報活動も考えるようになってきました。一方ロータリー内では、会員増強・拡大のためであろうか、例会の出席率60%ルールを50%にし、遂にはEクラブが承認された。これは最も大切な例会出席を軽んずるばかりか、否定してしまったといえいいすぎだろうか。人生の道場がなくなり、ふれあい学ぶところがなくなると、ロータリーの本質がどうなるか気になるところです。

このような厳しい状況下で、「ロータリーの奉仕」をあなたはどのように考えますか。私たちはIMを主催し、成功させなければなりません。皆様のお力添えを宜しくお願いいたします。

IM リーダー会議開催

日時; 9月16日(木) 15:00 ~ 18:00

場所; 直前ガバナー事務所

出席者; 講師・三木明地区研修リーダー 石濱ガバナー補佐 井口実行委員長 柴田副委員長 森崎随行 中村オプザーバー以上6名



- テーマ「ロータリーの奉仕を考える」は範囲が広いので、3項目くらいに細分化し、それに基づいて各クラブより発表を求める
- フォーラム形式を取っているため、単なる発表会とならないよう、長井コーディネーターとパネリスト6名による会議を10月に開く
- 低迷するロータリー活動に効果的なIMになるよう今後とも努力を重ねる